

<Vol. 109 の記事>

メッセージ 祝卒業！ スポーツでずっとつながっていよう！
連載 フレイバック20年⑥ - 1996~97年

卒業してもスポーツでつながろう！！

6年生52名が卒業・・・

今年、浦スポのプログラムに参加していた小学6年生は(サッカー広場、テニス、スポーツ探検隊を合わせて) 52名。

サッカー広場の幼稚園コースを始めたのは2004年、体操広場は2005年から始めているので、中には、幼稚園の時からずっと参加してくれた子もいます。

みんなクラブでは楽しく過ごせたかな？ スポーツを好きになれたかな？

みんなには、中学校に行ってもスポーツを続けてほしい。

土曜日の夜なら、星空スポーツにいつでも参加できる。部活にはいっていても、はいていなくても、遊びにきてほしい。中学校で離ればなれになってしまう友達とも、ここでならば一緒に汗を流せる。

もし、中学校にいて、好きな部活がなかったら、楽しい種目がなかったら、クラブでやりたいスポーツのプログラムをつくってみたいか。

そうになったら、私たちは、君たちを応援する。一緒にスポーツをしよう！一緒に楽しもう！君たちだけがクラブの歴史をつくれる！物心付いた時からクラブ育ち・・・それができる最初の代が君たちだ！中学校になっても遊びにおいで！！

サッカー広場のコーチも5名が卒業・・・

サッカー広場では、今年は大学4年生が多く、コーチの半数にあたる5人が大学を卒業して、社会人になっていきます。中には、大学1年生の時から、ずっと子ども達の相手をしてきていたコーチもいます。

授業に出ているよりも、広場の方が役に立つ、力がつくと言いつつ、何よりも広場を優先して選択授業を決めてくれたコーチもいます。その言葉を実証するかのように、教員採用試験にもバッチリ受かっていました。

郷里に帰って会社に就職する方、埼玉県内で教員になる方など、みんな別々の方向に歩み出します。

子ども達のことを一生懸命理解しよう、楽しませようと考えながら指導をしてきてきたその姿勢は、社会人になっても、相手の気持ちを思いやることのできる有能な人材として、

どこでも活躍していけると思います。

しかし！ 社会人になると忙しくなって、ついつい運動不足になりがち。あっという間にOkkg増で、「ほんとにスポーツしてたのお〜？」なんて、職場の同僚に言われないうちに、毎週コンスタントに体を動かし続けてくださいね。

選手コース、生涯コースなどで続けてもらえれば、とてもうれしいけれど、そうでなくても、星空スポーツにきて、広場にきていた子ども達と一緒に試合をする・・・なんていうのもあり。

いつでも クラブに“おかえりなさい！！”

卒業、就職おめでとう！ ありがとう！！



～キッズテニス/熊谷・北本との親善大会に参加～
キッズテニス大会の開催をとおして交流の生まれた北本市のあさひスポーツ・文化クラブ、熊谷市の久下小・奈良小のキッズテニスサークルとの親善大会が2月20日(土)(吉見町町民体育館)に開催されました。

浦スポからも会員が参加し、梶田みなみさんが低学年の部で優勝するなど、みな貴重な試合経験を積みました。



～卒業生からユニフォームを寄贈いただきました～

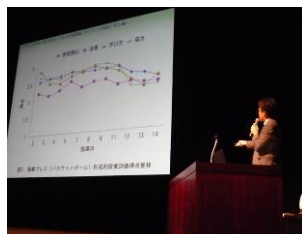
ユースの練習試合などの予備用ということで、一昨年のU15の卒業生から、ユニフォームを寄贈いただきました。ありがとうございました。

子どもの体力向上フォーラム

● 投力向上プロジェクトの中間成果を発表！

2/10、埼玉県が主催する「子どもの体力向上フォーラム」の開催に協力し、現在進めている投力向上プロジェクトの中間成果発表を、プロジェクトメンバーである平成国際大学の西川先生（写真上）、仙石先生（写真下）が行いました。

県内の体育関係者約200名に、今回の成果について報告し、放課後の子どもの運動習慣向上におけるクラブの有用性、正しい指導法の研究や普及における大学等の研究機関の役割と、学校・地域・大学等の連携の重要性についてお話をいただきました。これらの成果については、3月の事業終了後、報告書にまとめて公表していくことを予定しています。



～第16回 浦和スポーツ塾の報告～

2月20日に、平成国際大学スポーツ科学研究所の松本教授をお招きし、第16回浦和スポーツ塾を開催しました。

「スポーツ指導の12章」と題し、発育期のスポーツ指導のあり方などについてお話をいただきました。

「教えすぎないこと」は指導の基本であり、初心者でも上級者でも、年齢にも関わらずに、プレイヤーの自由な発想、考える力を大事にしなければいけないというお話が印象的でした。



～第25回 武蔵野十里に参加しませんか～

クラブの事業ではありませんが、これまでに講習会等でご協力いただいた埼玉県ウォーキング協会から、以下の案内をいただきました。

ークラスメイトと歩こう卒業記念ウォーキング大会ー

日時	2010年3月21日		
コース	40km 北浦和公園	7:30～	8:30 発
	25km 西大宮駅	10:00～	11:00 発
	12km 川島町伊草小学校	12:00～	12:30 発
	10km 高坂駅東口	12:00～	12:30 発
ゴール	東松山市ウォーキングセンター		
参加費	大人 1,000 円	小中学生	200 円
その他	完歩した卒業生には特別記念品プレゼント		
申し込	NPO埼玉県ウォーキング協会		
	Tel 048-831-4702	Fax 048-825-4166	

（案内チラシは、クラブ事務局にもおいてあります。関心のある方は、ご連絡ください）

*もちろん大人の方も参加できます。小学生以下は、保護者または引率者が必要です。

プレイバック浦スポ® 1996～97年

プレイバック浦スポの6回目は、クラブがREDSとの共同関係を解消し、独立して歩み出した1996年～1997年を振り返ります。

● REDSとの共同関係の解消

前年度に、U15（当時はジュニアユース：JY）と呼ばれていました）が高円宮杯で全国優勝し、レズとしても下部組織の独立の機運が高まったことや、プロクラブとアマチュアクラブが運営の歩調をあわせる難しさもあり、1996年浦和スポーツクラブとREDSは共同関係を解消しました。

当時、クラブには、U15、U18、生涯、選手の4つのコースがありました。

U15、U18に在席していた選手達は、REDSの下部組織に移籍し、クラブでは新中1年生、新高校1年生を対象に新入会員を募集しました。この時に新生浦和スポーツクラブJYの一期生として入会したのが、後にクラブでユースの指導者やサッカー広場の発展に活躍したM君やY君達です。

一方、生涯コースは40名近い会員が引き続き在席し、毎年10名近い新入会員を迎え入れていました。当時は、市民リーグなどに参加しておらず、試合はたまに親善試合を組む程度で、毎週土日に練習に明け暮れる日々でしたが、生涯会員のサッカー熱はいっそう冷めることなく、かなりの出席率を保っていたように思います。

写真は、大原サッカー場（当時は、市所有のグラウンドとして貸し出しされることもありましたが）において開催された、パルス（旧浦和市域を中心に設立されたOver40の老舗チームで最高齢は金パンツをはいた80歳以上の方もいらっしゃいました）の20周年（？）を記念して開催された親善大会に招待された時のものです。



● 多年代のサッカークラブとして

設立当初から総合的なスポーツクラブを指向し、夏にはカヌー、冬にはスキー教室なども開催されていましたが、それぞれの活動を中心とする会員を募るまではいならず、サッカーの会員しかいませんでした。

サッカーの生涯会員もこういった教室に参加することはあったようですが、もともと根っからのサッカー好きばかりで、他の活動が盛り上がりにはつながらなかったようです。

生涯コースの勢いは衰えることなく、名簿等が残されていないので正確にはわかりませんが、60名近い規模までふくれあがっていました。写真は、この年に初めて参加した公式大会（市民大会）の試合前に、まだ土のグラウンドである駒場サブで撮影した写真のようです。



2009年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。